



### 2020年の九州北部地方（山口県を含む）の天候

- 冬（2019年12月～2020年2月）は、記録的な暖冬となりました。
- 夏は、6月が記録的な高温に、7月が記録的な多雨となりました。

2020年の天候の特徴は以下のとおりです。

○冬は、北からの寒気の流れ込みが弱かったことから、統計開始（1946/47年冬）以降、最も高温だった昨年（2019年）を上回る記録的な暖冬となりました。

○夏は、6月は暖かい空気に覆われやすく、晴れて強い日射の影響を受ける日もあったため、統計開始（1946年）以降、最も高温となりました。7月は「令和2年7月豪雨」が発生するなど記録的な多雨となりました。

注）本資料は、12月31日までの観測データをもとにまとめたものです。  
なお、概況、統計値等は別紙をご覧ください。

問合せ先：福岡管区気象台気象防災部

要因について：地球環境・海洋課（川口）092-725-3613

観測値について：防災調査課（蛇嶋）092-725-3614

## 《季節毎の概況》

冬（2019年12月～2020年2月）は、統計開始（1946/47年冬）以降、気温が最も高かった。

偏西風が平年より北に蛇行したため寒気の影響が弱く、統計開始以降で最も高温となった昨年の冬を上回る記録的な暖冬となった（図1）（表1）（表2）。

春（3月～5月）は、気温は高かったが、4月は寒気の影響を受けやすかったため、かなり低くなった。

3月から4月にかけて移動性高気圧に覆われやすかったため、春の日照時間がかなり多かった。また、3月と5月は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高くなったが、4月は寒気の影響を受けやすかったため、かなり低かった（図1）（図3）（表1）。

夏（6月～8月）は、6月が統計開始（1946年）以降、最も高温となったほか、7月は、統計開始（1946年）以降、最も降水量が多かった。

6月は暖かい空気に覆われやすく、晴れて強い日射の影響を受ける日もあったため、統計開始以降、最も高温となった（図1）。また、8月は平年より強い太平洋高気圧に覆われたことから統計開始以降、2番目となる高温となった。7月は「令和2年7月豪雨」の発生や記録的な長雨もあるなど降水量は、統計開始以降、最も多かったほか、気温は低くなった（図1）（図2）（表1）。

秋（9月～11月）は、後半を中心に移動性高気圧に覆われやすかったことから、日照時間は多かった。

9月は台風や前線及び湿った空気の影響で降水量は多く、日照時間は少なかった。10月以降は移動性高気圧に覆われやすかったため、日照時間は多かった（図2）（図3）（表1）。

12月は、強い寒気の影響で低温となったほか、降水量は少なかった。

中旬を中心に強い寒気の影響で低温となったほか、大陸からの高気圧に覆われやすかったことから降水量は少なかった（図1）（図2）（表1）。

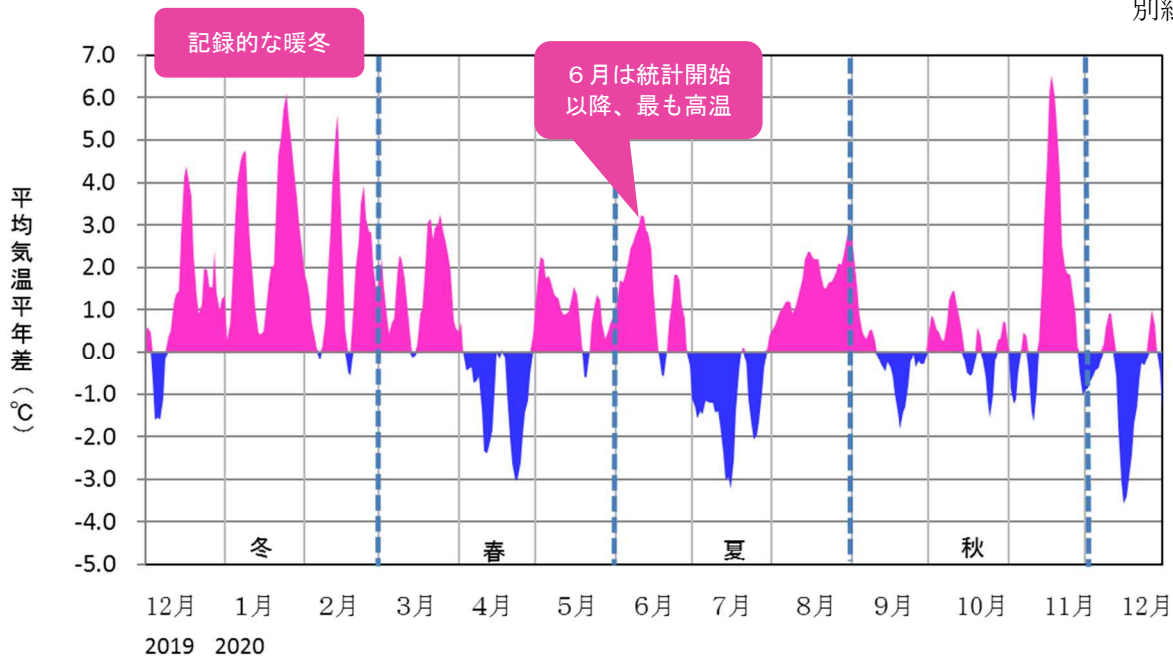


図1 九州北部地方（山口県を含む）の平均気温の地域平均平年差（5日移動平均）

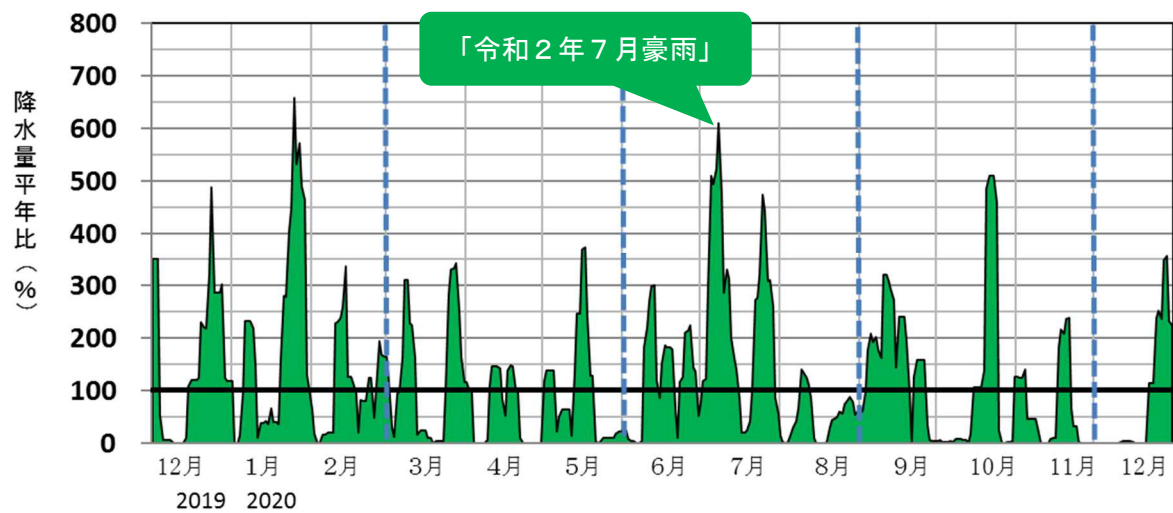


図2 九州北部地方（山口県を含む）の降水量の地域平均平年比（5日移動平均）

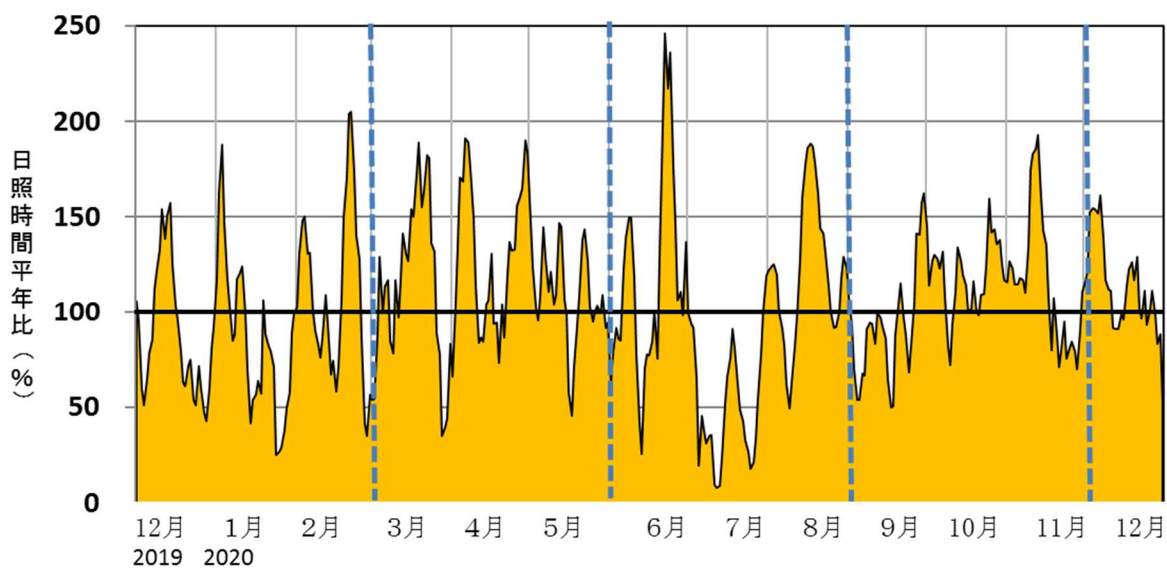


図3 九州北部地方（山口県を含む）の日照時間の地域平均平年比（5日移動平均）

表1 九州北部地方（山口県を含む）の平均気温・降水量・日照時間の地域平均年差（比）  
 平年値は1981～2010年の平均

	平均気温年差（℃）	降水量年比（％）	日照時間年比（％）
2019年12月	かなり高い（+1.4）	かなり多い（182）	かなり少ない（82）
2020年1月	かなり高い（+2.9）	かなり多い（198）	少ない（87）
2月	高い（+2.0）	多い（125）	多い（113）
冬（12月～2月）※	かなり高い（+2.1）	かなり多い（167）	少ない（95）
3月	かなり高い（+1.7）	多い（114）	多い（113）
4月	かなり低い（-1.2）	少ない（64）	かなり多い（130）
5月	かなり高い（+1.1）	平年並（103）	平年並（108）
春（3月～5月）	高い（+0.6）	平年並（94）	かなり多い（117）
6月	かなり高い（+1.5）	多い（136）	平年並（112）
7月	かなり低い（-1.4）	かなり多い（254）	かなり少ない（53）
8月	かなり高い（+1.6）	少ない（49）	多い（121）
夏（6月～8月）	高い（+0.6）	かなり多い（162）	平年並（96）
9月	平年並（0.0）	多い（159）	少ない（90）
10月	平年並（+0.2）	平年並（90）	多い（120）
11月	高い（+1.3）	少ない（63）	多い（112）
秋（9月～11月）	平年並（+0.5）	多い（122）	多い（108）
12月	低い（-0.7）	少ない（63）	多い（116）
年（1月1日～12月31日）	高い（+0.7）	かなり多い（133）	かなり多い（107）

※冬は2019年12月から2020年2月までの期間

（注1） 地域平均年差（比）は、いつもの年（平年）と比べてどのくらい暖かい（多い）・寒い（少ない）かを地域全体でみるもので、九州北部地方（山口県を含む）の統計期間が50年以上ある観測所（表3参照）における年差（比）を平均して算出。朱書は統計開始（1946年）以降、極値を更新したことを示す。

表2 季節（3か月）の極値更新（九州北部地方平均）

要素	値（単位）	季節	これまでの極値（単位）（年）
平均気温の地域平均年差の高い方から	+2.1（℃）	冬（2019年12月～2020年2月）	+1.4（℃） 2019

平年値は1981～2010年の平均

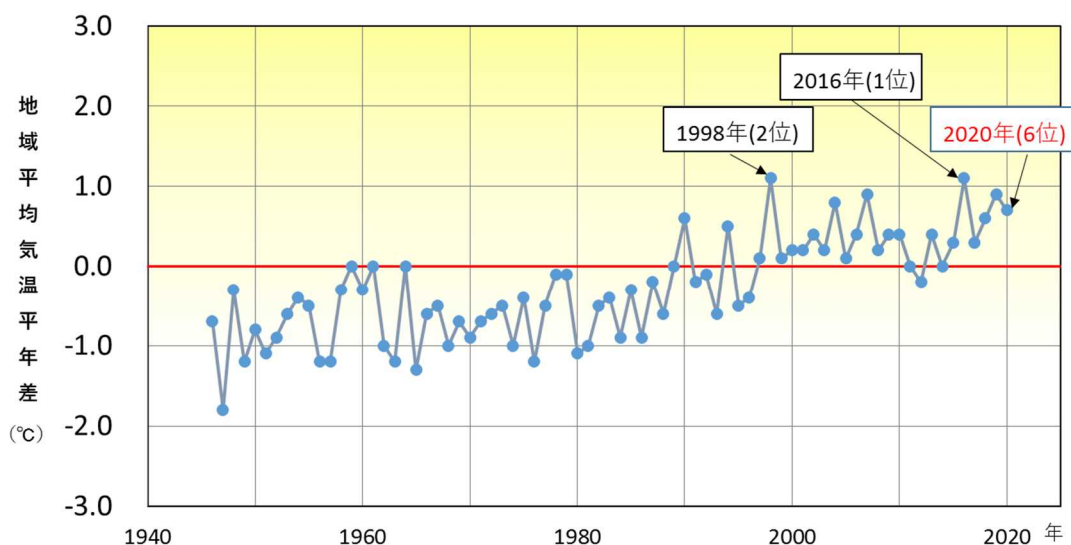


図4 九州北部地方（山口県を含む）の年平均気温の地域平均年差 1946年～2020年

表3 各地点の2020年の年平均気温・年降水量・年間日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	降水量 (mm)	平年比 (%)	日照時 間 (h)	平年比 (%)
山口	16.1	+0.8	2277.0	121	2007.4	109
下関	17.4	+0.7	1958.0	116	2013.3	107
萩	16.3	+0.8	1868.5	113	1888.1	110
福岡	17.9	+0.9	2212.5	137	2040.5	109
飯塚	16.5	+0.8	2059.0	117	1991.4	109
佐賀	17.5	+1.0	2876.0	154	2095.0	106
長崎	17.7	+0.5	2709.5	146	1974.3	106
厳原	16.4	+0.6	2937.0] (統計月数:11)	131] (統計月数:11)	1932.9	104
平戸	16.8	+0.7	3077.0	146	1918.1	108
佐世保	17.7	+0.7	2803.0	144	2060.8	108
雲仙岳	13.3	+0.5	4127.5] (統計月数:11)	142] (統計月数:11)	1589.2	110
福江	17.4	+0.6	3184.0	136	1835.2	105
熊本	17.6	+0.7	2467.5	124	2130.6	106
人吉	16.2	+0.7	3171.0	133	1894.2	104
牛深	18.5	+0.5	3106.5	157	2057.2	106
大分	17.4	+1.0	1860.0	113	2166.4	108
日田	16.3	+0.9	2508.0	139	1922.0	107

平年値は1981～2010年の平均

- (注2) これらは1月1日から12月31日までの観測値を使った集計結果である。  
(注3) 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに対する差(比)である。  
(注4) 値の横に]がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

#### <九州北部地方(山口県を含む)の梅雨の記録>

梅雨入りは平年より6日遅かった。梅雨明けは平年より11日遅かった(表4)。

梅雨の時期の降水量(6月と7月の降水量の合計)の地域平均平年比は195%とかなり多かった(表5)。

表4 2020年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年の梅雨入り	梅雨明け	平年の梅雨明け
九州北部地方	6月11日ごろ (遅い)	6月5日ごろ	7月30日ごろ (かなり遅い)	7月19日ごろ

- (注5) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。

表5 九州北部地方（山口県を含む）の主な地点の梅雨の時期（6月と7月）の降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比 195%)	下 関	910.0	162	561.9
	福 岡	1114.5	209	532.7
	佐 賀	1628.5	240	677.5
	長 崎	1301.5	207	629.0
	熊 本	1363.5	169	805.7
	大 分	897.0	170	526.3

平年値は1981～2010年の平均

(注6) 九州北部地方（山口県を含む）の統計期間が50年以上ある観測所を対象として、梅雨の時期（6～7月）の地域平均降水量を平年比（%）で示した。

#### ＜九州北部地方（山口県を含む）に接近・上陸した台風＞（注）

2020年の台風の発生数は、23個（平年25.6個）であった（表6）。

九州北部地方への台風の接近数（注6）は3個（平年3.2個）で、台風第5号、台風第9号及び台風第10号であった（表7）（図5）。

なお、九州への台風の上陸（表8）（図5）はなかった。

表6 台風の発生数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2020年	0	0	0	0	1	1	0	8	3	7	2	1	23
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

表7 九州北部地方（山口県を含む）への台風の接近数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2020年	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
平年値	—	—	—	0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	1.0	0.3	—	—	3.2

表8 九州への台風の上陸数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2020年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注7) 本表は台風の発生月別にとりまとめたもの。台風によっては発生月と接近・上陸月が違う場合があるが、ここでは示さない。

(注8) 「九州北部地方への接近」は台風の中心が九州北部地方の統計期間が50年以上ある地点から300km以内に入った場合を指す。

(注9) 「九州への上陸」は台風の中心が九州本土の海岸線に達した場合を指す。

(注10) 値が「—」となっている月は、平年値を求める統計期間内に該当する台風が1例もなかったことを示す。

(注11) 値は1月4日現在

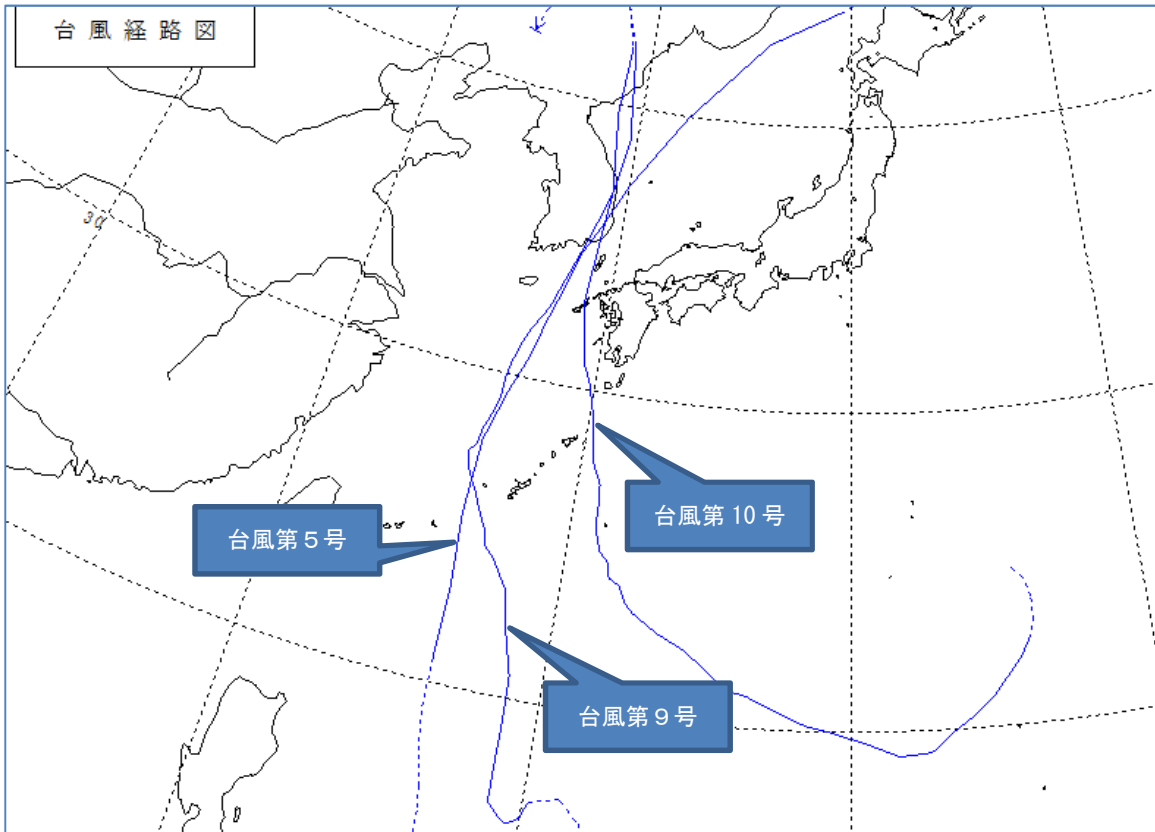


図5 九州北部地方（山口県を含む）に接近した台風経路図  
実線は台風、点線は熱帯低気圧又は温帯低気圧を示す